

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード		事業名		部名		企画総務部			
	02128-1		行政情報化推進研修事業		室名		人事情報室			
	施策体系	基本施策の大綱		06:行政経営		財務科目	会計		一般会計	
		基本施策		01:自立した行政経営の推進			款		総務費	
		施策の方向		06:人材の育成			項		総務管理費	
戦略プロジェクト				目			行政情報化推進費			

② 目的・概要	対象	職員		
	目的	情報システムの管理、運用に係る専門研修及びアプリケーション研修により、職員のリテラシー能力の向上を図る。		

③ 指標	活動	①	名称	研修開催回数	計画値		24 年度		25 年度		26 年度	
			補足		実績値		1		1		1	
				単位		回		回		回		
		②	名称		計画値							
			補足		実績値							
				単位								
	成果	①	名称		計画値							
			補足		実績値							
				単位								

④ 事業の計画・実績	年度計画				年度実績				
					情報インストラクターを任用した。 新規採用職員を中心に、情報リテラシー能力の調査を実施した。 アプリケーション研修を実施した。 本年は、社会保障・税番号制度実施にむけて、従来のセキュリティ研修にかわるものものとして、関係職員にe-ラーニングによる研修を実施し、受講者全員が終了した。(受講者 人)				
	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	370	平均給与額 × ③
		事業費		2,222	1,700		一般職員人件費 ②	370	
		国庫支出金					所要人員 ③	0.05	
		県支出金					臨時職員人件費 ④		
		地方債					受益者負担額 ⑤		
		その他					受益者負担率	0.0%	
		一般財源		2,222	1,700				
		再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額							
		総人件費		①	370				
総コスト		⑥	2,070						

⑤ 事業の評価	【事業の成果】		総合判定
	情報システムの管理・運用に係る研修及びアプリケーション研修の実施により、職員のリテラシー能力の向上を図った。 社会保障・税番号制度実施に向けて、職員にe-ラーニングによる研修を実施し、知識の向上に努めた。		
	B		
	まずまず進んだ		
	【反省点・課題】 IT技術及び職員の情報リテラシー能力が日々進歩していることから、研修内容に工夫が必要である。 情報インストラクターが、職員等からの各種問合せ対応等のヘルプデスク業務や機器類の管理に時間を取られ、本来の研修事業の展開に支障をきたしている。		
【改善の方向性】 職員の身に付けている技術に応じた段階的な研修の開催を検討する。 各部署に配属している情報化リーダーに研修を実施することにより、情報化リーダーによるサポートを拡充させる。			
事業目的の妥当性: 適切 有効性: 適切 最終評価確認者: 人事情報室長 富田 真左哉			